



## マルサントレードIRセミナー 個人投資家向け会社説明会

# 当社の沿革と事業内容

# サムコ 株式会社

令和元年6月18日

<https://www.samco.co.jp>



# お陰様で設立40周年を迎えるました



シリコンバレーにオプトフィルム研究所を開設。1987

新社屋完成により、本社を移転。1985

東京営業所を開設。1984

1982 マルチチャンバーシステム®PDM-303を開発。

1981 化合物半導体製造用MOCVD装置を開発。

1980 半導体プロセス用大型CVD装置を開発。

1979 株式会社サムコインターナショナル研究所を設立。創業者の辻理が京都市伏見区のガレージで創業。

東京証券取引所市場第一部銘柄へ指定。2014

東京証券取引所市場第二部へ上場市場を変更。2013 量産用ICPエッティング装置RIE-600iPC、RIE-800iPBCを開発。

2012 SiCパワーデバイス用ICPエッティング装置RIE-600iPを開発。

シンガポール支店を開設。2011

アメリカ東部事務所、北京事務所を開設。2010

韓国事務所、台湾サムコグローバルサービスを開設。2008 LED量産用ICPエッティング装置RIE-330iPCを開発。

2006 MEMS用高速Siディープエッティング装置RIE-800iPBを開発。

上海事務所を開設。2004

2003 化合物半導体デバイス量産用プラズマCVD装置PD-220LCを開発。

生産技術研究棟を完成。2002

台湾事務所を開設。

日本証券業協会店頭市場(ジャスダック)に上場。2001

1998 量産用ICPエッティング装置RIE-101iPCを開発。

1997 セミ量産用ICPエッティング装置RIE-200iPを開発。

1995 RIE装置RIE-10NRを開発。

東海営業所、つくば営業所を開設。1993

研究開発センター、第2工場を完成。1991

1990 液体ソース®CVD装置PD-240を開発。

シリコンバレーにオプトフィルム研究所を開設。1987

新社屋完成により、本社を移転。1985

東京営業所を開設。1984

1982 マルチチャンバーシステム®PDM-303を開発。

1981 化合物半導体製造用MOCVD装置を開発。

1980 半導体プロセス用大型CVD装置を開発。

1979 株式会社サムコインターナショナル研究所を設立。創業者の辻理が京都市伏見区のガレージで創業。

2018 ICPエッティング装置RIE-200iPNを開発。

マレーシア事務所を開設。

第二生産技術棟を完成。2016 Aqua Plasma®クリーナーAQ-2000を開発。



化合物半導体デバイス用  
ICPエッティング装置  
**RIE-200iPN**



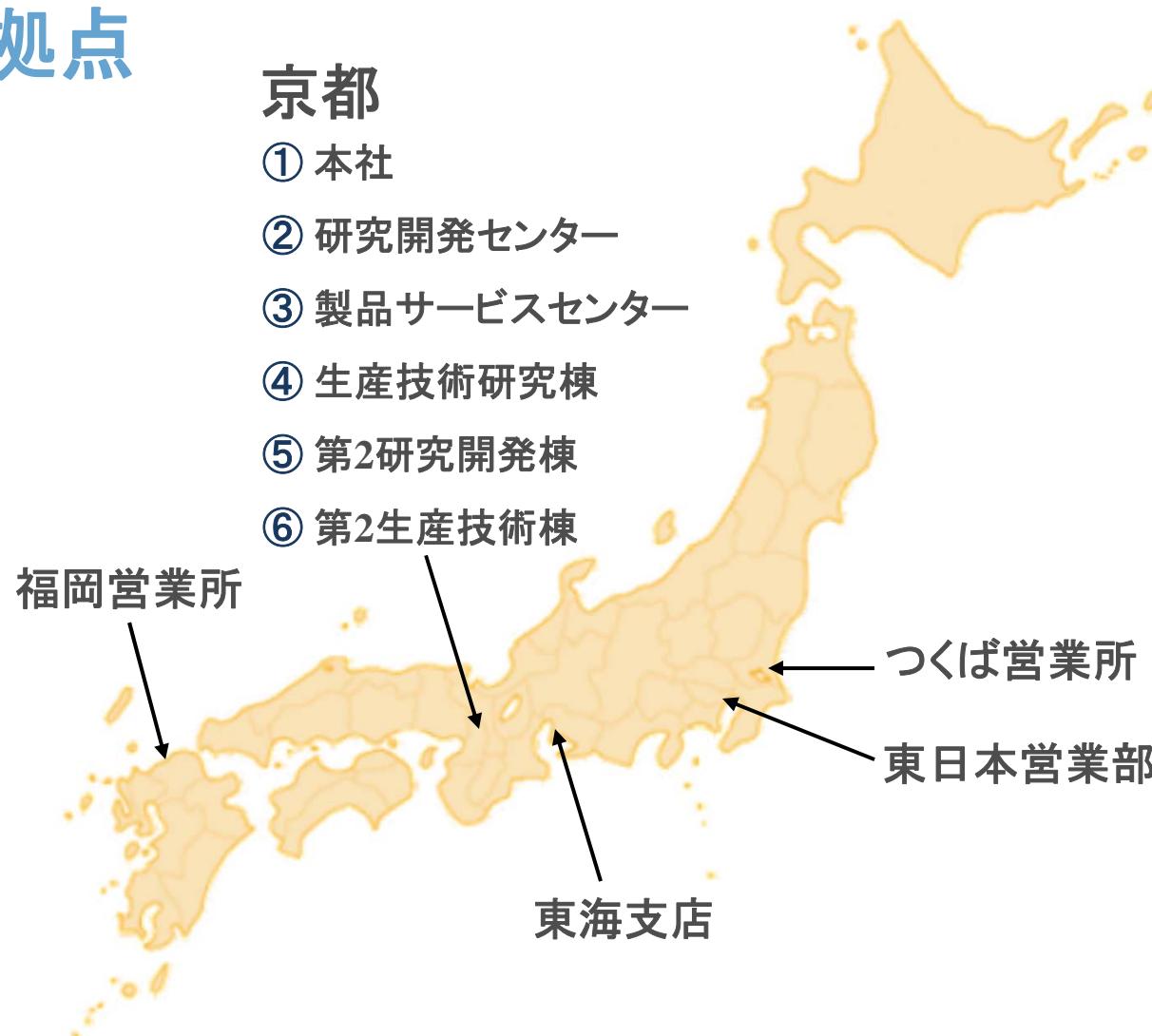
40年で、  
4000台の装置が、  
30カ国に納品されました。

# 1. 会社概要

# 会社概要

- ・商 号 サムコ 株式会社
- ・代 表 者 代表取締役会長兼CEO 辻 理  
代表取締役社長兼COO 川邊 史
- ・設 立 1979年9月
- ・事 業 内 容 半導体等電子部品製造装置の製造・販売
- ・資 本 金 16億6,368万円
- ・従 業 員 170名(役員、パートタイマーを除く 2018年7月31日現在)
- ・営 業 拠 点 本社(京都)・東日本(東京)・東海・つくば・福岡  
台湾(新竹・台南)、中国(上海・北京)、韓国(水原)、  
シンガポール、マレーシア(ペタリングジャヤ)、  
米国(カリフォルニア・ニュージャージー)、リヒテンシュタイン
- ・研 究 拠 点 本社研究開発センター、オプトフィルムス研究所(米国)、
- ・上 場 取 引 所 東京証券取引所市場第一部(証券コード:6387)

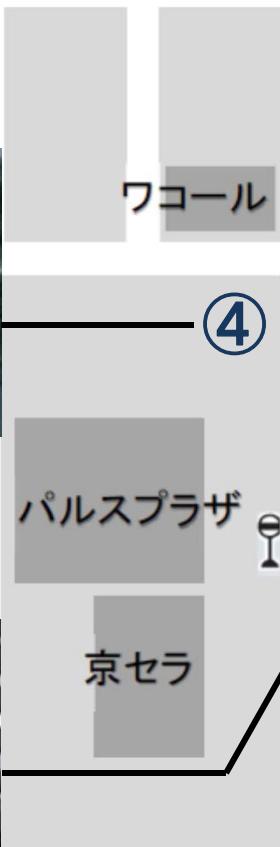
# 国内拠点



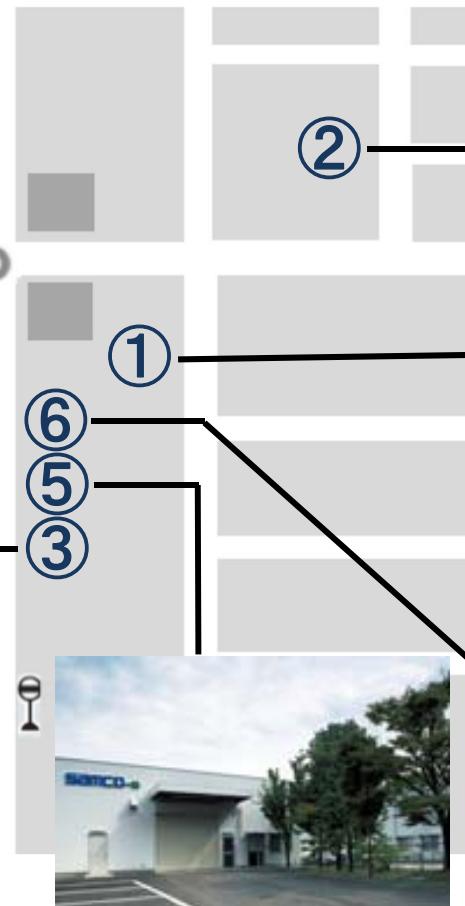
# 国内拠点 京都



④生産技術研究棟



③製品サービスセンター



②研究開発センター



①本社



⑥第2生産技術棟

# 設計部・資材部・製造部

## 設計部



## 資材部



## 製造部



1階



生産技術研究棟



1階  
クリーンルーム



2階

本資料の著作権その他の一切の権利は、サムコ 株式会社に属しております。  
複製、転送、第三者への配布等を無断で行わないようお願い申し上げます。

# 開発部



研究開発センター



第2研究開発棟



本資料の著作権その他の一切の権利は、サムコ 株式会社に属しております。  
複製、転送、第三者への配布等を無断で行わないようお願い申し上げます。

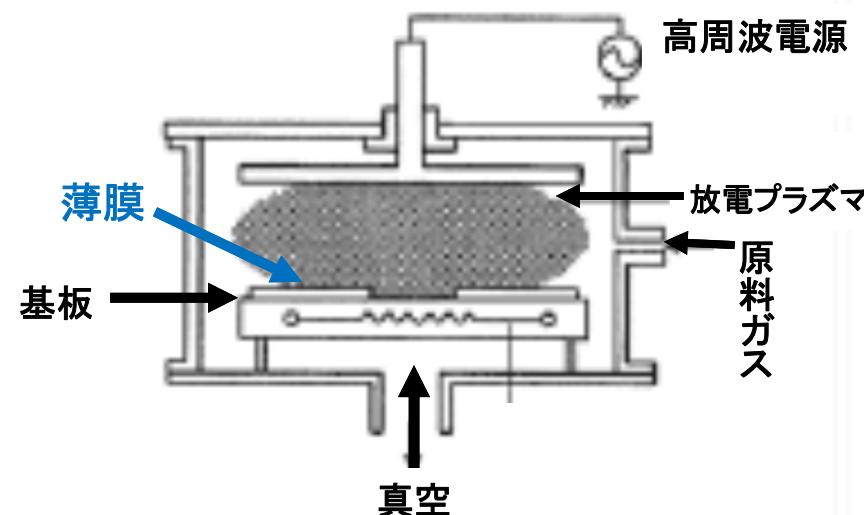
# 経営理念 Mission

## 薄膜技術で世界の産業科学に貢献する

薄膜とは、髪の毛の太さ(80μm)の10万分の1程度の肉眼では見えない薄い膜。

### 薄膜の種類

- ・半導体薄膜
- ・絶縁膜
- ・金属膜
- ・防湿膜 など



薄膜形成(プラズマCVD)

# サムコの製品分野

## 主要製品群

### 薄膜形成



deposition

#### CVD (Chemical Vapor Deposition) 装置

原料ガスを気化した後、基板の上に堆積させ、半導体膜、絶縁膜などを形成する装置。



### 微細加工



etching

#### ドライエッチング装置

各種半導体基板上の薄膜をはじめ微細加工が必要な材料を加工する装置。



### 精密洗浄



surface treatment

#### ドライ洗浄装置

反応性の気体やUV/オゾンを用いて、プラスチックパッケージや電子部品をドライ洗浄する装置。



# ビジネスモデル 事業領域

## 明確な戦略“非シリコン市場”



半導体と材料開発の分野で躍進する企業という意味を込めています。

### 化合物半導体の特徴

- ・発光特性
  - ・高周波特性
  - ・高い耐熱性
- など

## 化合物半導体製造装置に特化

# ビジネスモデル 高度な技術力で製品開発・生産に貢献

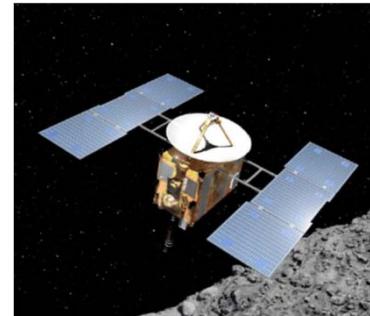
環境負荷低減に寄与するLEDやパワーデバイス、スマートフォンに搭載されている高周波フィルターなどの製造装置のリーディングカンパニー



屋外照明  
(用途:LED)



新幹線  
(用途:パワーデバイス)

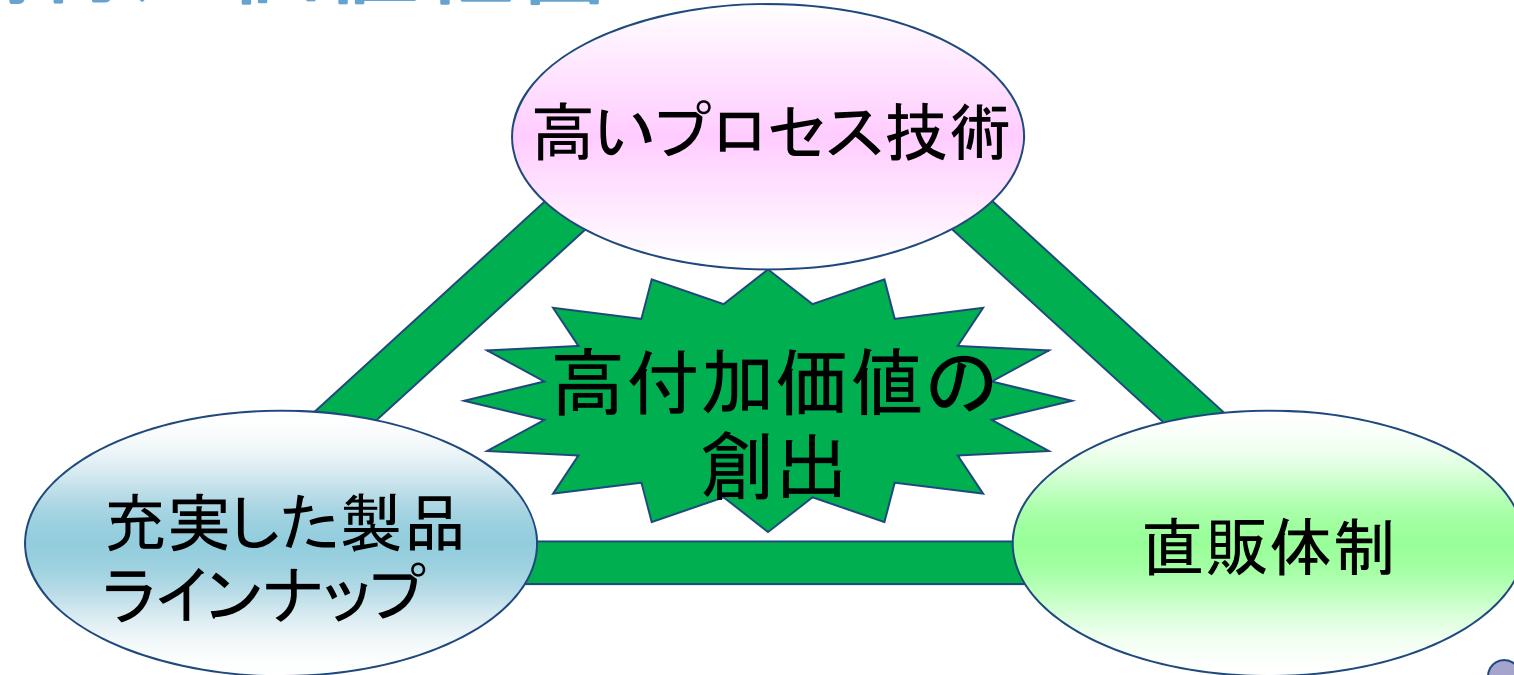


小惑星探査機  
(用途:イメージセンサ)



スマートフォン  
(用途:高周波フィルター)

# ビジネスモデル 高付加価値経営



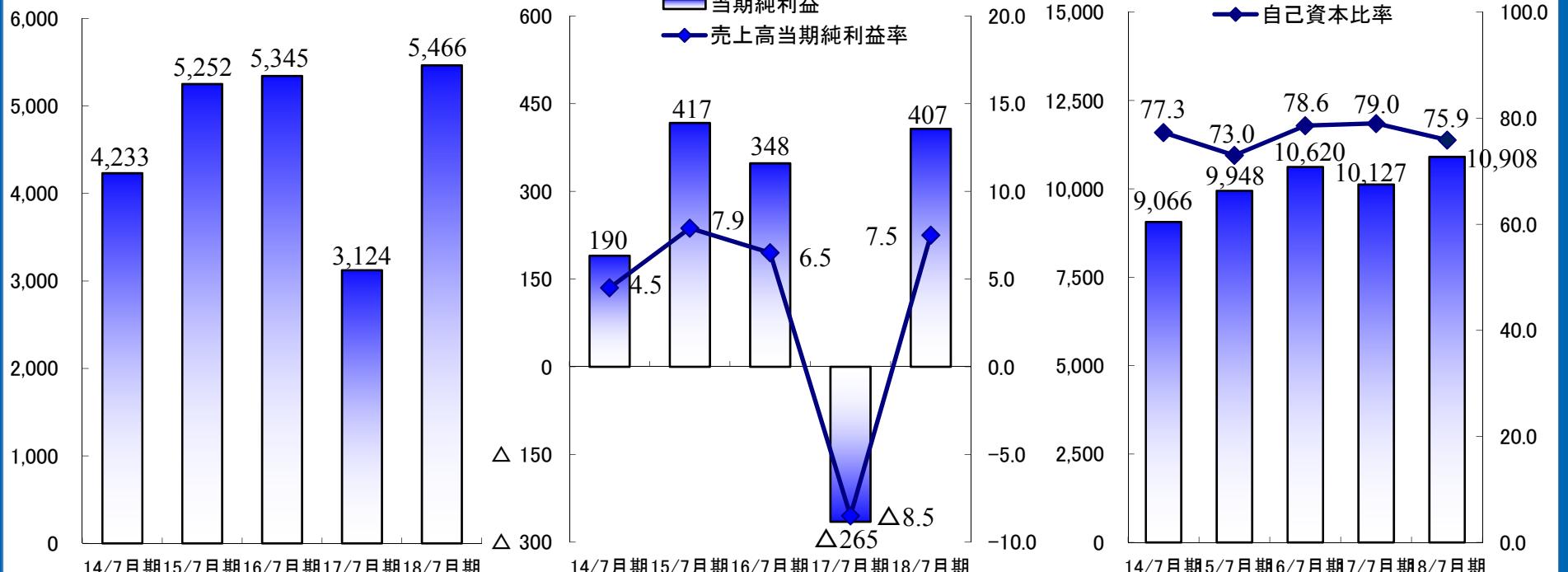
研究開発市場で培った高いプロセス技術を活かし、  
生産機市場で更なる躍進を志向

## 2. 19/7月期事業計画

# 業績ハイライト

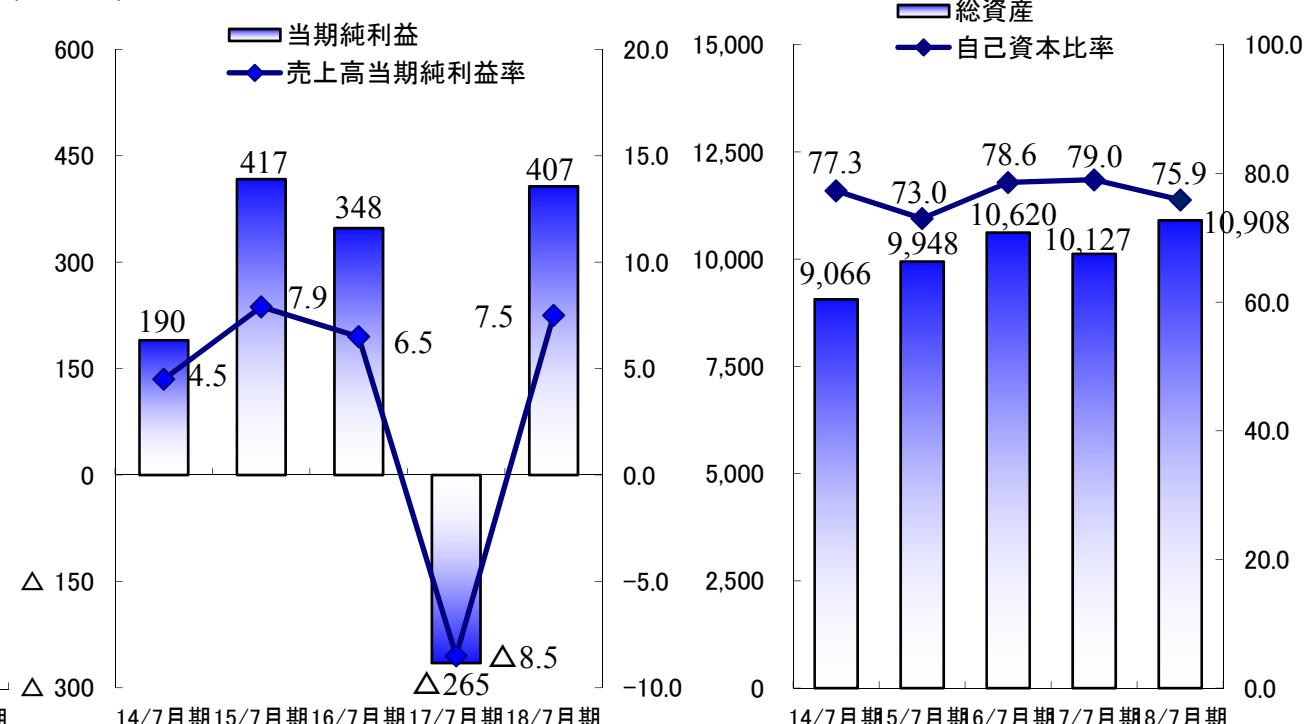
## 売上高

(百万円)



## 当期純利益 / 売上高当期純利益率

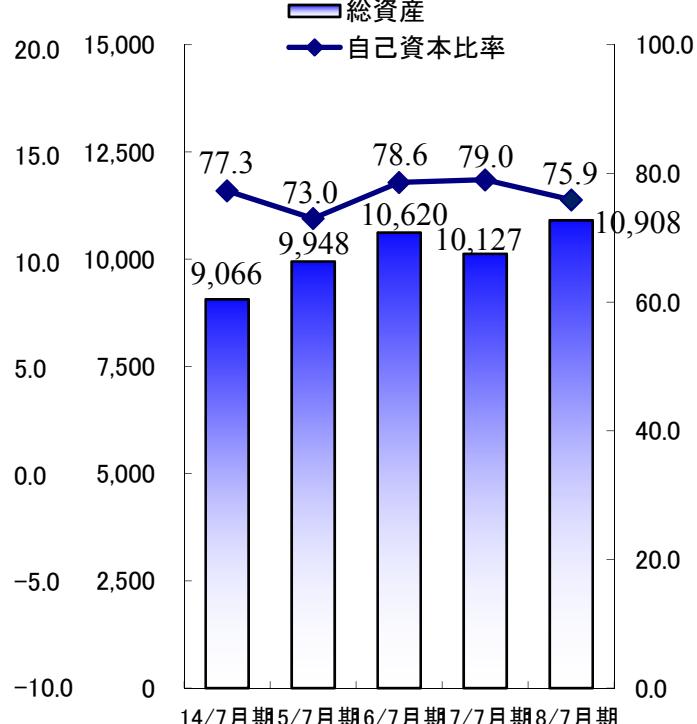
(百万円)



※16/7月期は為替差損が170百万円発生

## 総資産/ 自己資本比率

(%)(百万円)



## 経営理念

薄膜技術で世界の産業科学に貢献する

## 中期経営計画方針

- ① 独創的な技術を創造し、市場は世界
- ② グローバルニッチ市場でのリーディングカンパニーとして最先端の製品・サービスを提供し、市場占有率を上げる
- ③ 高付加価値経営により事業の社会的責任を果たす

# 19/7月期の修正目標数値

(単位:百万円)

	17/7月期 実績	18/7月期 実績	19/7月期 修正目標		
			3Q累計 実績	4Q 計画	通期 計画
売 上 高	3,124	5,466	3,816	1,684	5,500
売 上 総 利 益	1,442	2,596	1,751	769	2,520
営 業 利 益	△ 279	638	300	240	540
経 常 利 益	△ 214	642	306	224	530
当 期 純 利 益	△ 265	407	212	138	350
海外売上高比率	33.1 %	41.0 %			40.6 %
R O E	△ 3.2 %	5.0 %			4.2 %

# 19/7月期の重点課題

## I 海外販売の拡大

- ◆42期 売上高比率50%(41億円)に向けての営業、サービス体制の構築
- ◆海外要員の確保、教育研修体制の整備
- ◆各種営業ツールの整備

## II 新規事業の立上げ(ヘルスケア事業)

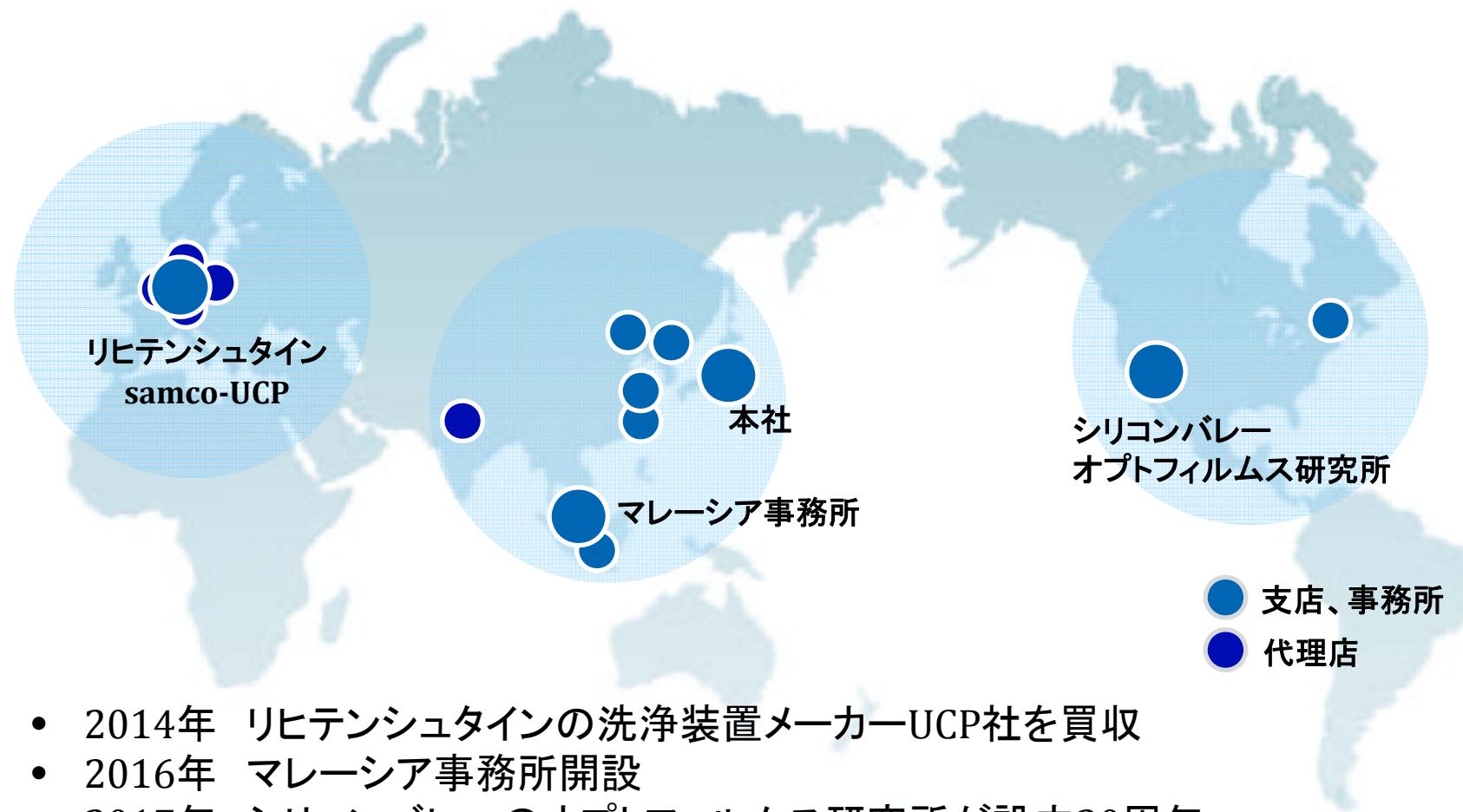
- ◆マイクロ流路チップの接合技術の確立及び流路加工技術開発とビジネス化
- ◆滅菌器販売の事業化～装置完成と1号機の販売
- ◆MEMSセンサのヘルスケア分野への展開

## III 創造性を重視した人材育成

- ◆体系だった人事教育の実施
- ◆外国籍社員の活用

## IV 製品品質の向上、コストダウンの推進

# グローバルニッチ市場のリーディングカンパニー



- 2014年 リヒテンシュタインの洗浄装置メーカーUCP社を買収
- 2016年 マレーシア事務所開設
- 2017年 シリコンバレーのオプトフィルムス研究所が設立30周年
- 2018年 オプトフィルムス研究所をサンニーベールからサンタクララに移転
- 海外売上高比率を2018年7月期の41%から2021年7月期に50%以上へ

# 重点分野

## ①電子部品分野

- FBAR等スマホ用高周波フィルタ、薄膜コンデンサ用途。
- 加速度センサ、超音波センサ等車載用各種センサ用途。
- 次世代パワーデバイス向けゲート酸化膜形成用ALD装置を拡販。

## ②オプトデバイス分野

- データセンター用などVCSELを含む通信用LD用途。
- 車載用高輝度LED・LD、ディスプレー用マイクロLED用途。

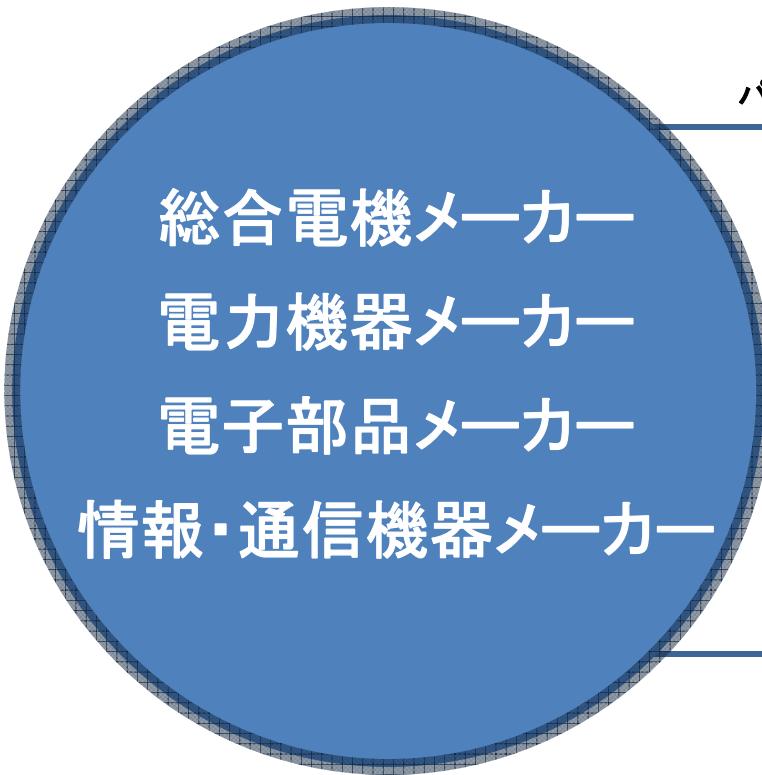
## ③洗浄・表面処理分野

- 新製品 アクアプラズマ“AQ-2000”の拡販。
- 医療用機器分野への市場拡大。

# 重点分野

## ①電子部品分野

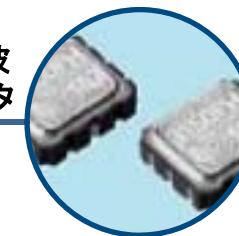
～パワーデバイス・高周波フィルタ・MEMSセンサなどの加工～



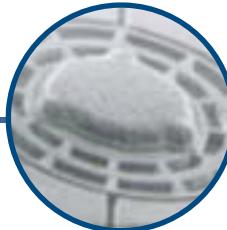
パワーデバイス



高周波  
フィルタ



MEMSセンサ



新幹線

車載用各種機器

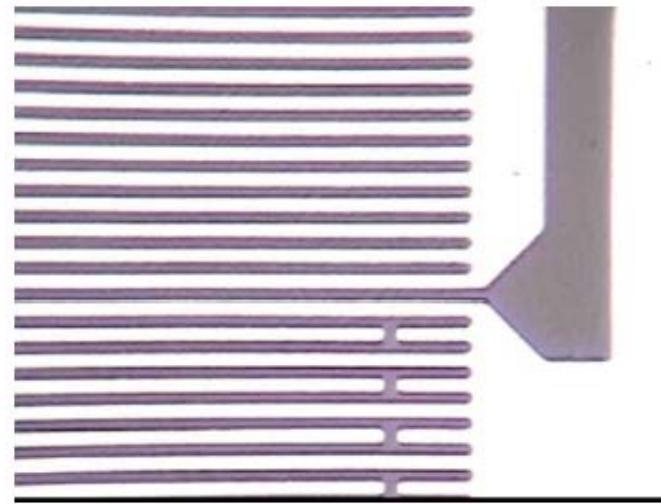
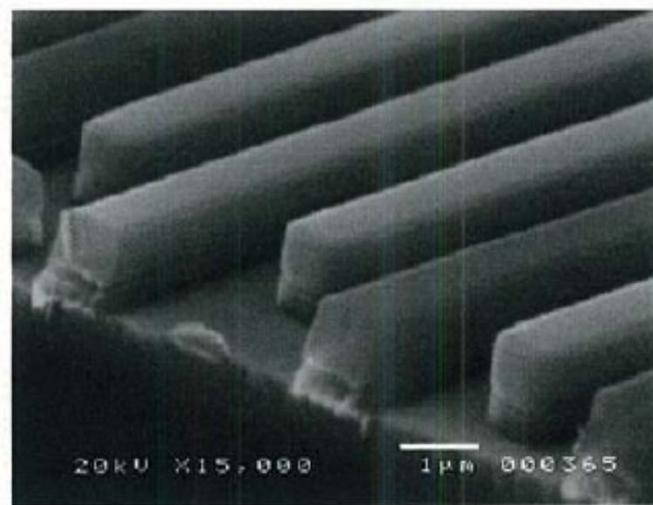
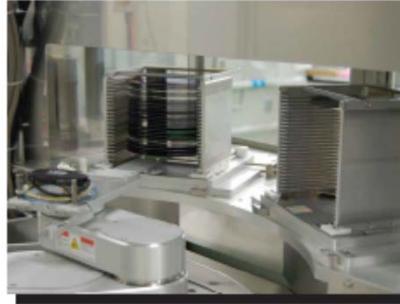
スマートフォン

プリンター

# SAWフィルタ

SAWフィルタ向け  
製品

ICPエッチング装置  
RIE-100HiC



本資料の著作権その他の一切の権利は、サムコ 株式会社に属しております。  
複製、転送、第三者への配布等を無断で行わないようお願い申し上げます。

# モノとモノがつながるトリリオンセンサ社会

(個)

## センサの年間出荷個数



世界のセンサ生産数は、2007年に1000万個、その後、年220%の伸び率で2012年に35億個に増加。

2020年前後には、年間1兆個のセンサ生産が予測される。

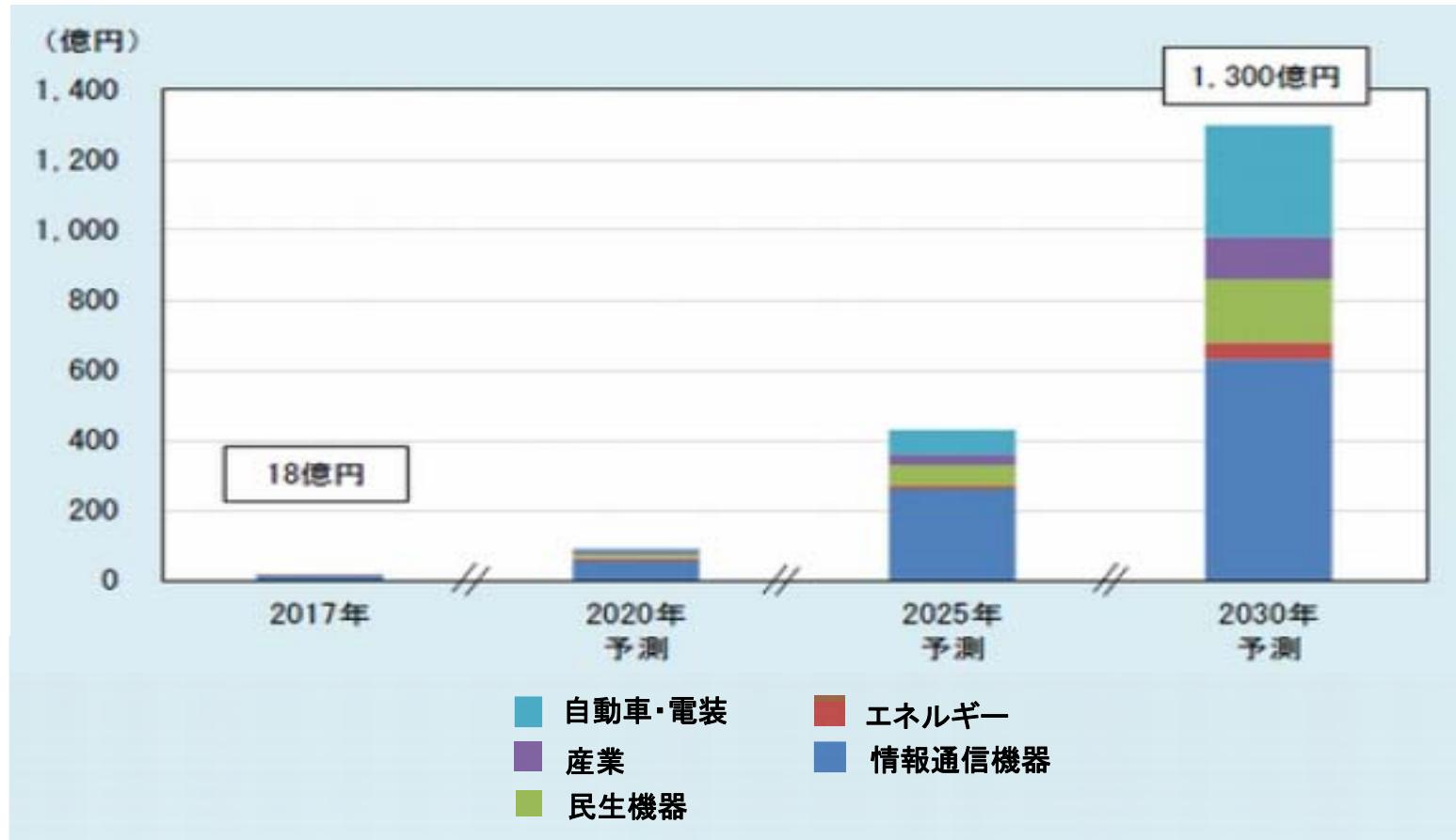
『トリリオンセンサ社会』の到来でモノとモノとがセンサとデジタルネットワークでつながる。

出典:ローム

# 次世代、次々世代パワーデバイス世界市場

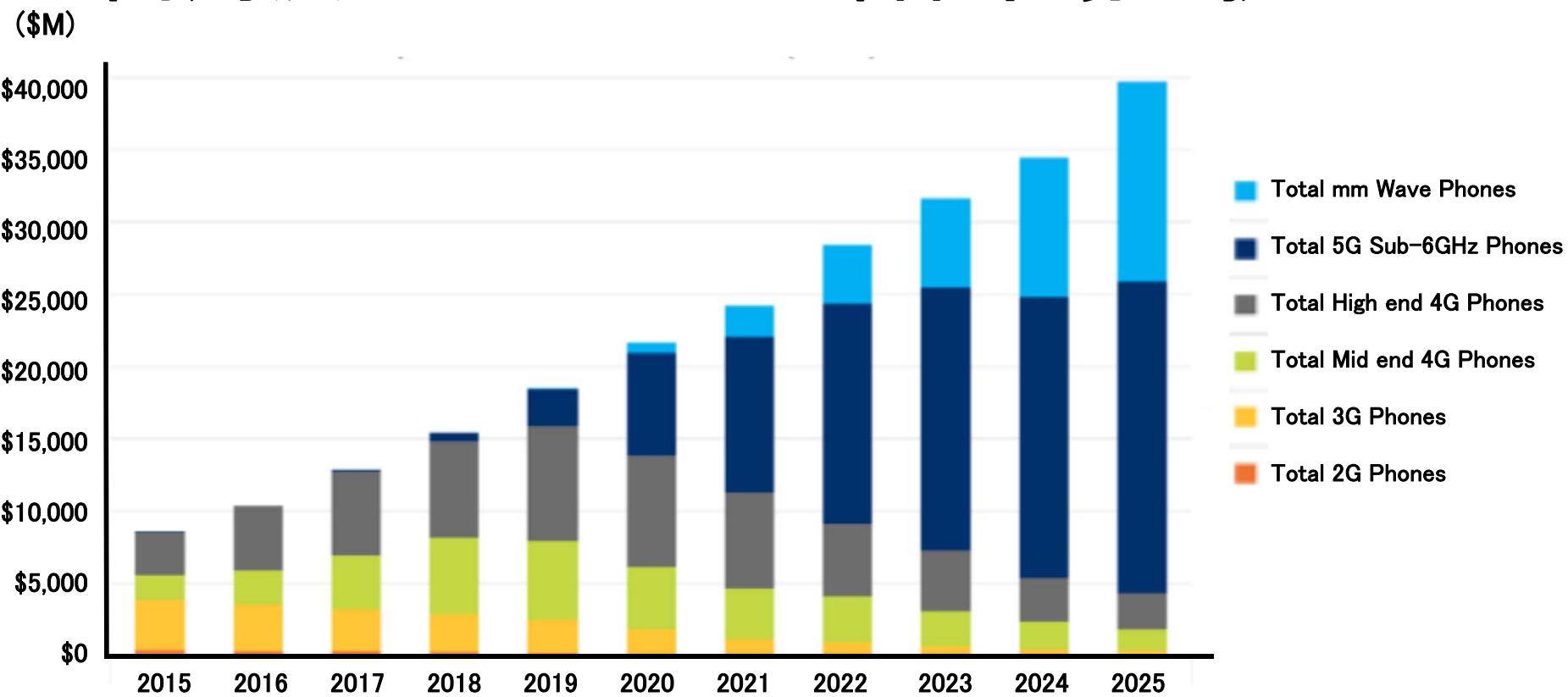


# GaNパワーデバイス市場の拡大



出典:富士経済

# 5Gの牽引による 高周波フロントエンド部品市場の拡大



出典: Yole Développement

本資料の著作権その他の一切の権利は、サムコ 株式会社に属しております。

複製、転送、第三者への配布等を無断で行わないようお願い申し上げます。

## ②オプトエレクトロニクス分野 ～LED・半導体レーザ・フォトニック結晶などの加工～



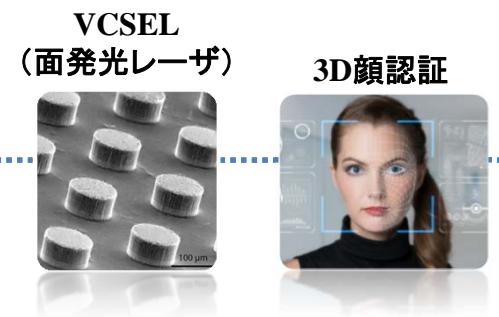
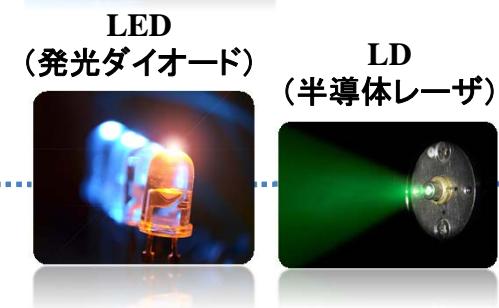
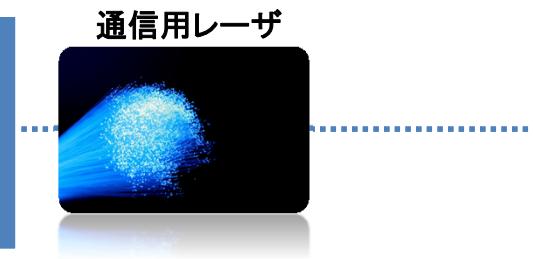
電子部品メーカー  
情報・通信機器メーカー



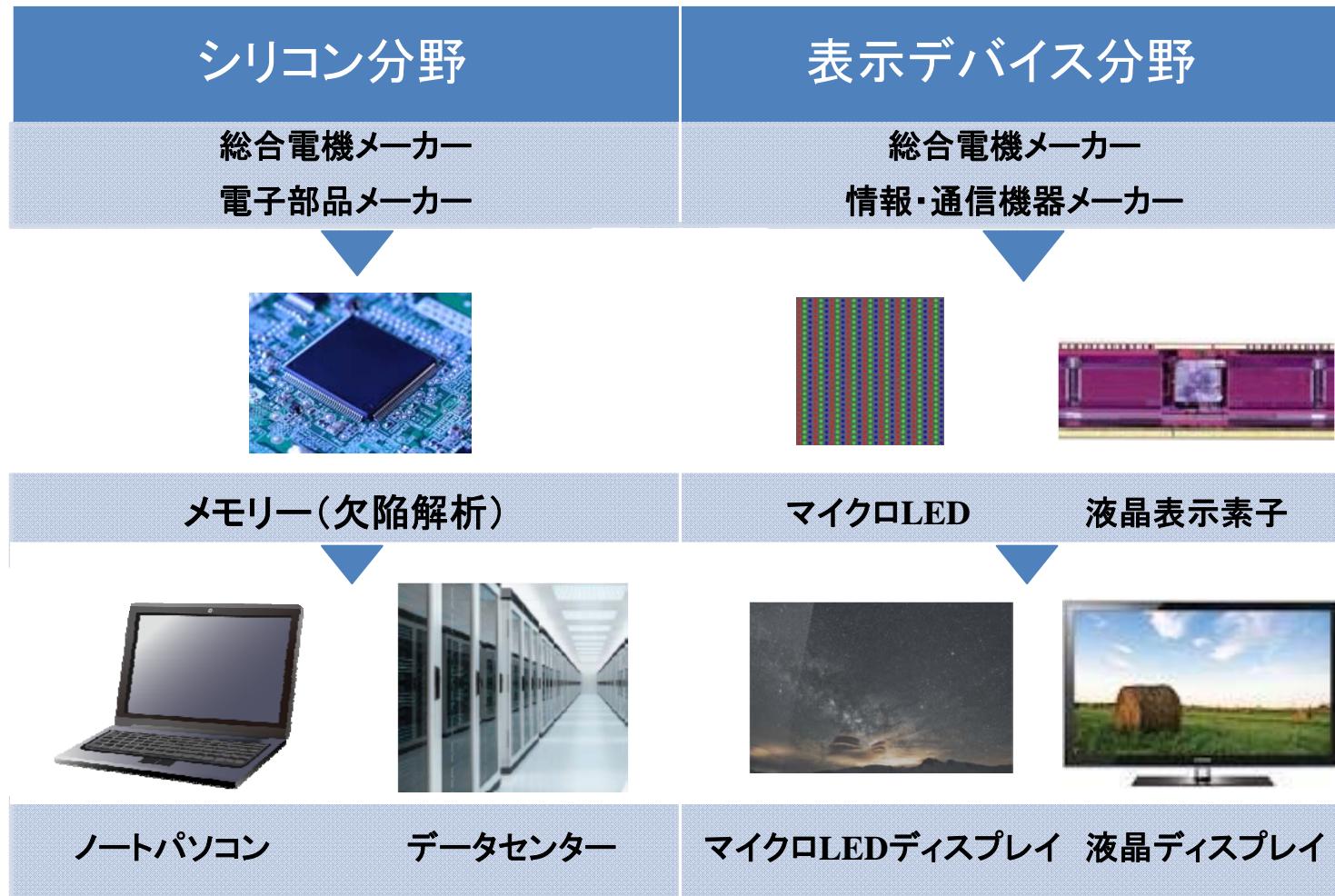
電気機器メーカー  
電子部品メーカー



国内大学  
海外大学

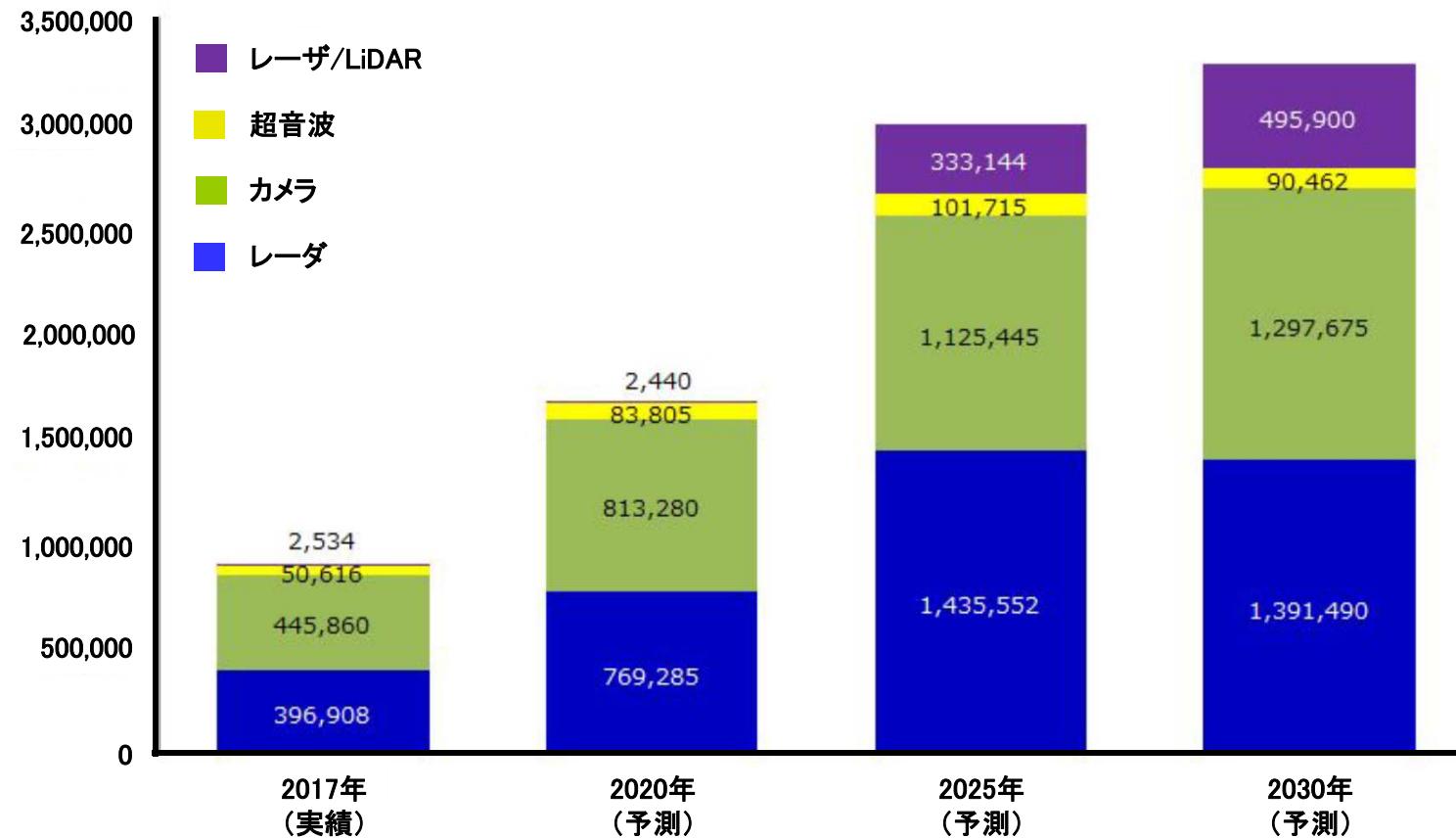


## ③シリコン・表示デバイス分野



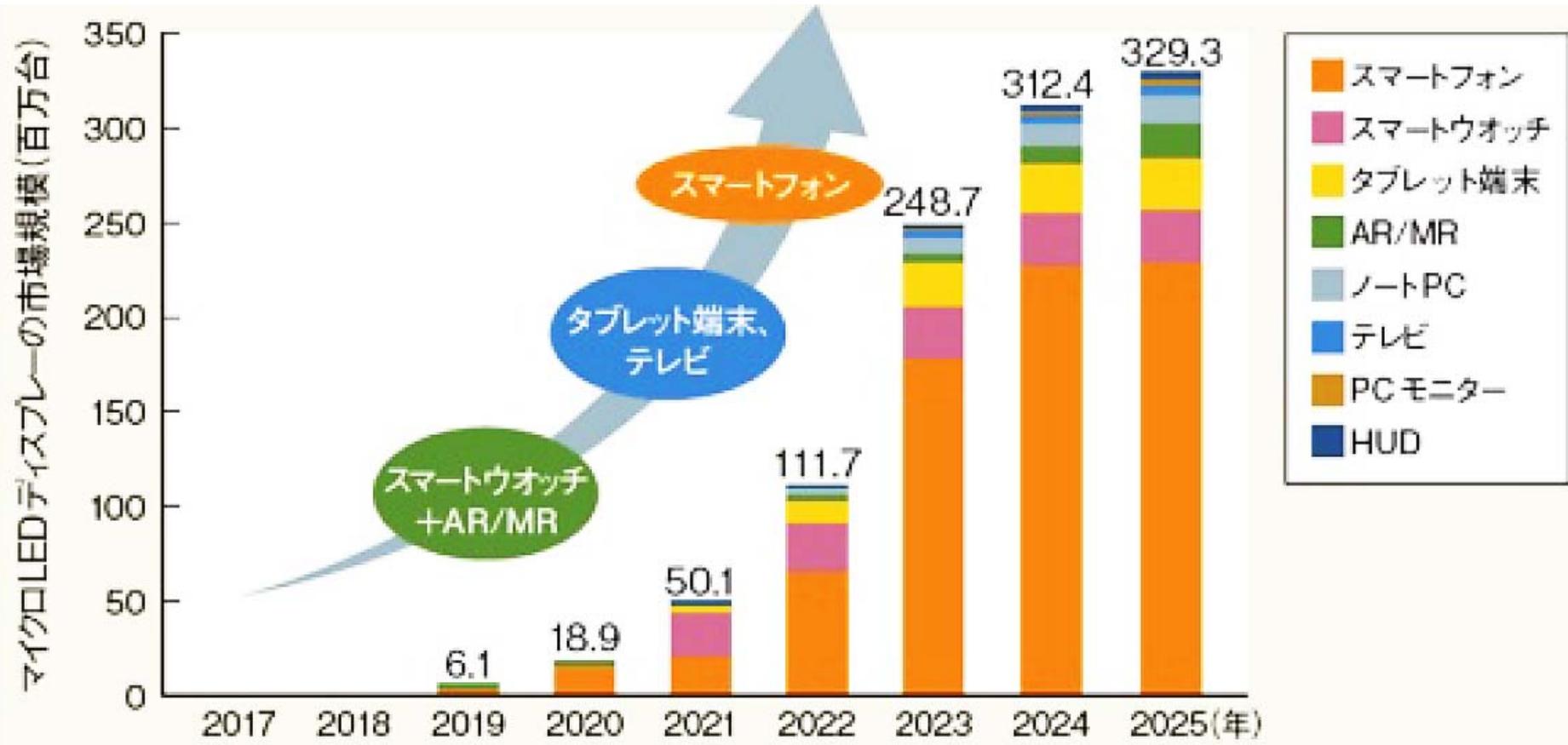
# 車載用部品市場の拡大

(百万円)



出典：矢野経済研究所

# マイクロLEDディスプレイ市場の拡大



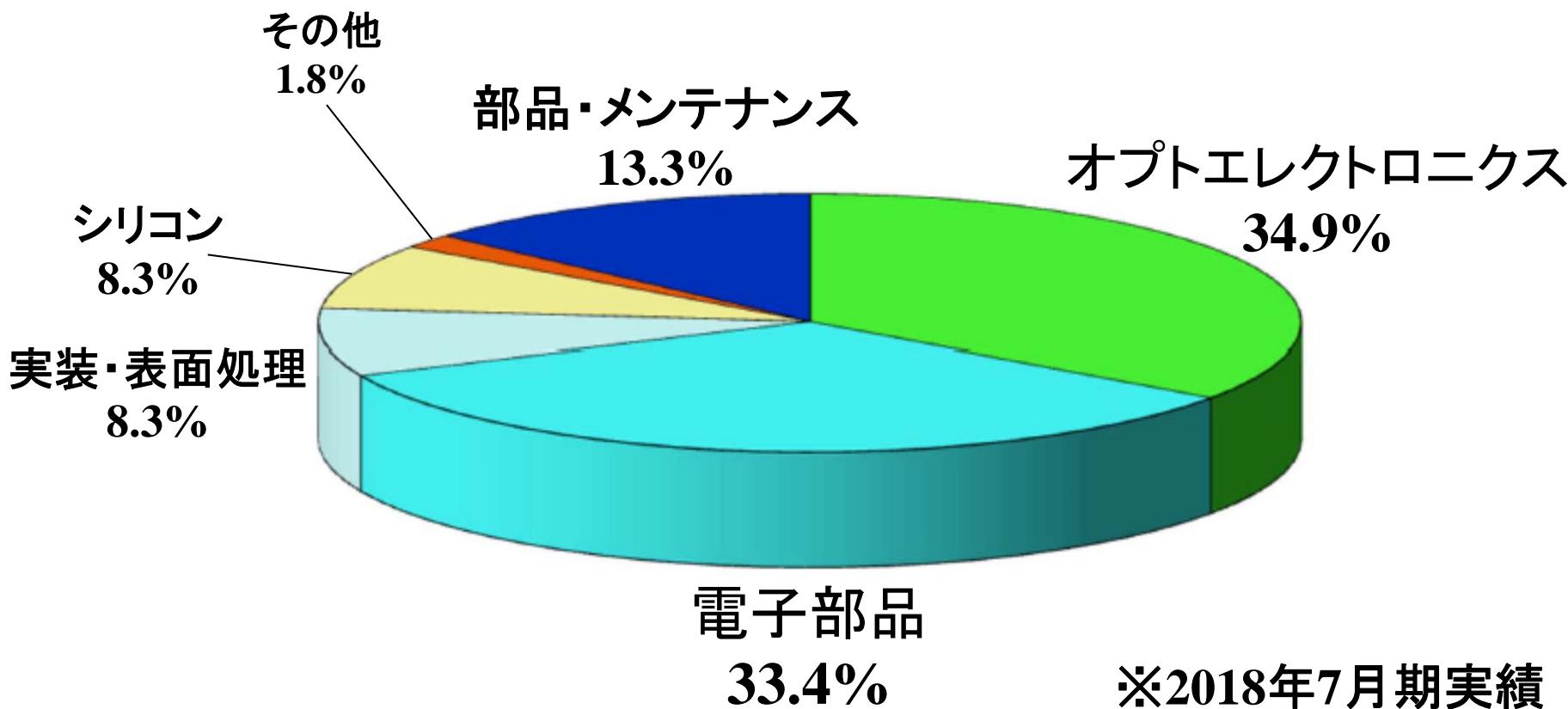
出典:Yole Développement、

日経エレクトロニクス、マイクロLEDがディスプレー革新、「モノリシック化」で課題解消

本資料の著作権その他の一切の権利は、サムコ 株式会社に属しております。

複製、転送、第三者への配布等を無断で行わないようお願い申し上げます。

## 用途別売上高



# 新規事業分野

## コアである薄膜技術を展開

クリーン  
エネルギー

太陽光発電  
次世代  
パワーデバイス

ヘルスケア  
バイオメディカル

バイオMEMS  
DDS  
インプラント

リサイクル

ペットボトルへの  
薄膜コーティング



京都市成長産業創造センター(ACT Kyoto)を  
拠点にヘルスケア分野の研究開発を展開

# 新規事業(ヘルスケア事業)

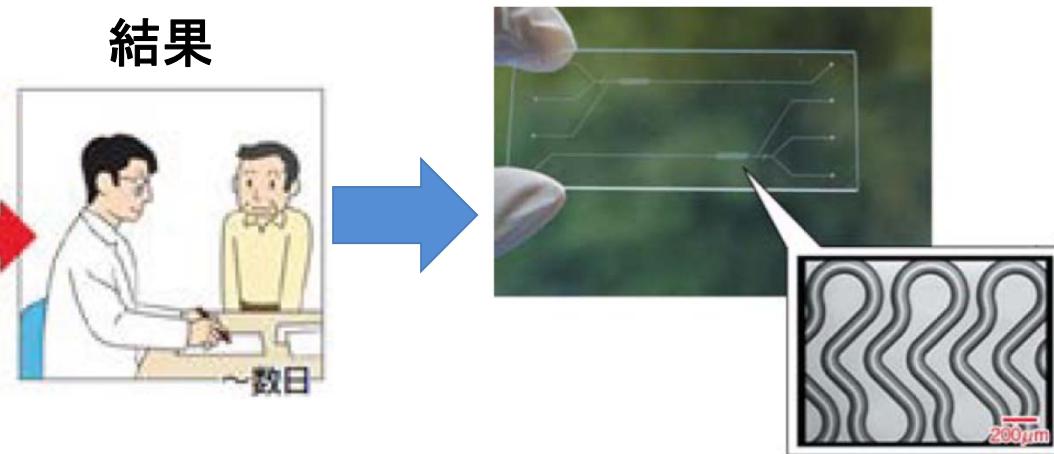
## マイクロ流体チップとは

### 従来のバイオマーカー分析



- 長時間(～数日)
- 高額

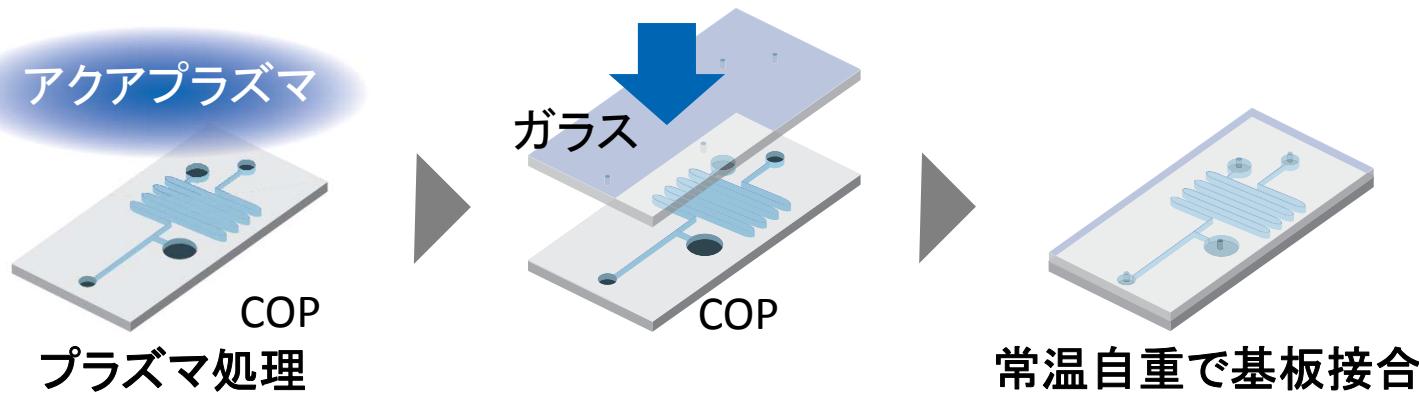
### マイクロ流体チップ



- 短時間(～1時間)
- 安価

# 新規事業(ヘルスケア事業)

## アクアプラズマの拡販 ~マイクロ流体チップへの応用~ シクロオレフィンポリマー(COP)とガラスの常温接合



- ✓ 加熱、加圧が不要
- ✓ マイクロ流路パターンの破損がない
- ✓ 超親水化が可能



アクアプラズマを応用したドライ滅菌装置の製造及び販売も計画

## 新規事業(ヘルスケア事業)

医療器具向けにアクアプラズマを応用したドライ滅菌装置を投入の予定。QMS(Quality Management System)省令承認申請準備中。



### 対象

カテーテル、内視鏡、手術用医療器具など

#### 過酸化水素プラズマの問題点

- ・過酸化水素の強い腐食性
- ・ガスの浸透性が弱く、内腔構造物の滅菌が困難
- ・高コスト

#### アクアプラズマ

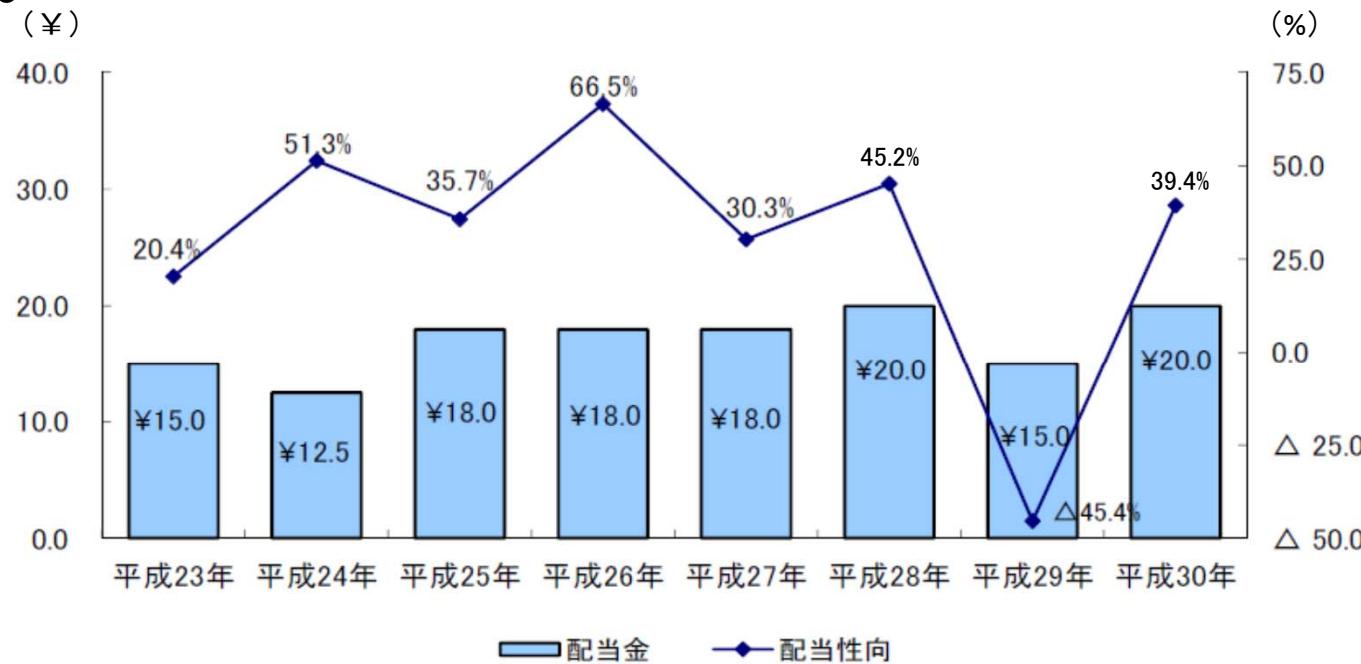
- ・水蒸気を原料としており安全
- ・内腔構造物の滅菌が可能
- ・低コスト

### 3. 株主様へ

# 株主価値の創造

## ① 株主還元・配当金

利益還元を経営の重点政策とし、安定配当に業績連動をプラス。



本資料の著作権その他の一切の権利は、サムコ 株式会社に属しております。

複製、転送、第三者への配布等を無断で行わないようお願い申し上げます。

## ② 株主優待

毎年1月31日現在の株主名簿に記載または記録された3単元(300株)以上保有の株主様を対象として、2年未満の方にはクオカード1,000円分、2年以上の方にはクオカード2,000円分をご送付しております。

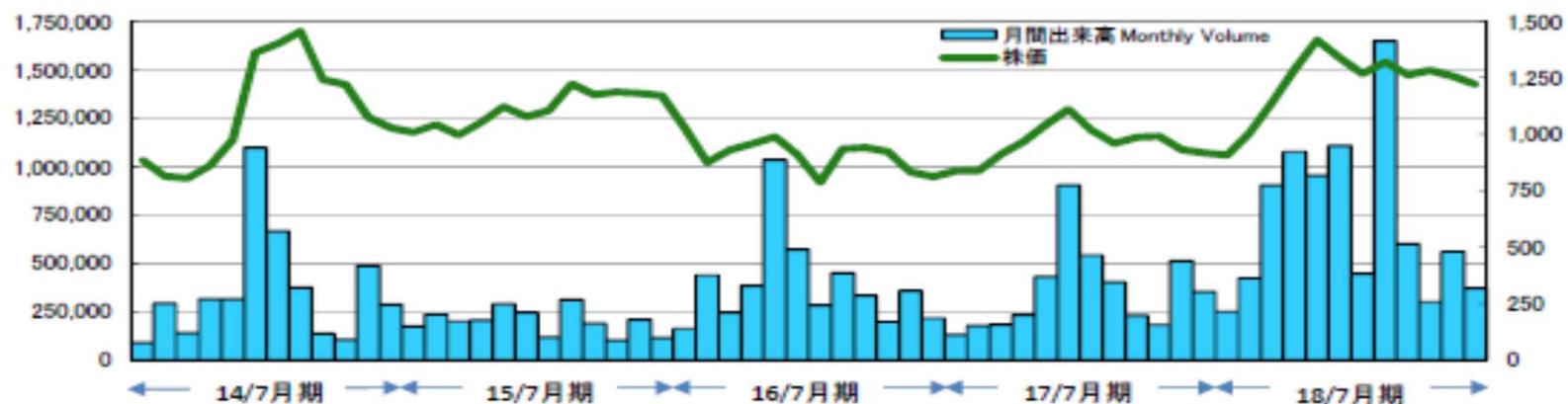
# 株価と月間出来高の推移

	平成26年7月期 2013.8～2014.7	平成27年7月期 2014.8～2015.7	平成28年7月期 2015.8～2016.7	平成29年7月期 2016.8～2017.7	平成30年7月期 2017.8～2018.7
1株当たり純資産 Book-Value Per Share	996	1,032	1,038	995	1,030
1株当たり配当額 Cash Dividends per Share	18.00	18.00	20.00	15.00	20.00
1株当たり当期純利益 Earnings per Share	27.05	59.32	44.24	△ 33.02	50.77
自己資本比率 Equity Ratio	77.3%	73.0%	78.6%	79.0%	75.9%
自己資本利益率 Return on Equity	2.7%	5.8%	4.5%	△ 3.2%	5.0%
株価(期末) Stock Price at End of Term	1,027	1,170	812	916	1,220
株価収益率 Price-Earnings Ratio	38.0倍	19.7倍	18.4倍	△ 27.7倍	24.0倍
株価純資産倍率 Price Book-Value Ratio	1.03倍	1.13倍	0.78倍	0.92倍	1.18倍
配当性向 Dividend Payout Ratio	66.5%	30.3%	45.2%	△ 45.4%	39.4%
株価最高値 Yearly High Stock Price	1,525	1,279	1,183	1,189	1,486
株価最安値 Yearly Low Stock Price	786	941	725	770	890

※ 2015年9月1日を払込期日とする公募増資で、1,000,000株増加しております。

## 月間出来高

株価(¥)



本資料の著作権その他の一切の権利は、サムコ 株式会社に属しております。

複製、転送、第三者への配布等を無断で行わないようお願い申し上げます。

## 社会貢献

### サムコ科学技術振興財団による若手研究者の助成

平成30年9月6日、京都リサーチパークにおいて第2回研究助成金贈呈式が開催され、薄膜、表面および界面の分野の若手研究者6名にそれぞれ200万円、総額1,200万円が贈呈された。

式典後には、光触媒研究の第一人者である藤嶋昭先生（平成29年度文化勲章受章）の記念講演が行われた。



研究助成金贈呈式

# お問合わせ

## サムコ 株式会社

広報・IR室

電話 : 075-621-7841

E-mail : [koho@samco.co.jp](mailto:koho@samco.co.jp)

URL : [www.samco.co.jp](http://www.samco.co.jp)



## 薄膜技術で世界の産業科学に貢献する

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。